

科目名	JPN311: 日本文化				担当教員	森下 園	
開講期	秋	開講時限	火金3限	研究室	4202	オフィスアワー	P.19を参照のこと

【授業実施方法】

授業実施方法	① 主に Zoom を用いたリアルタイム型の授業
--------	--------------------------

【授業の進め方】

授業の進め方	主に Zoom で行う。授業プリントを Moodle におくので、授業前にダウンロードして予習をしておく。理解度を確認するため授業内でグループワークを行い、結果を Google フォームに書き込み他の学生とシェアする。質問は随時 Zoom チャットに書き込む。毎回の授業課題、期末のレポートは Moodle に提出となる。
--------	---

【評価方法：変更なし】 【評価基準：変更なし】

評価方法	①Moodle 提出の課題（約 400 字）が 3%×20 回=60% ②2000～3000 字の期末レポートが 40%の計 100%となる。
評価基準	①授業課題：要点を整理して自分の言葉でまとめているか、提出期限を守っているか。なお欠席した回の課題は採点対象にならない。研究倫理違反は 0 点となる。 ②レポート：適切なテーマで適切な参考文献を使用・引用し、定められた書式・字数で期日までに提出しているか。研究倫理違反は 0 点となる。

【運営方法、教育手法：変更あり】 【準備学修（予習・復習）：変更なし】

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	はじめに－「日本文化」とは何か Moodle の使い方について	講義、質疑応答、グループワーク	自分が思う「日本文化」について、箇条書きにする
2	「日本人」の定義（1）旧石器遺跡捏造事件	講義、質疑応答、グループワーク	Moodle に書き込み 第 3 回授業プリントの予習
3	「日本人」の定義（2）人類学者の学説変遷	講義、質疑応答、グループワーク	第 3 回授業課題① 第 4 回授業プリントの予習
4	「日本人」の定義（3）植民地政策にあらわれるゆらぎ	講義、質疑応答、グループワーク	第 4 回授業課題② 第 5 回授業プリントの予習
5	日本の王権論（1）古代の神話と天皇	講義、質疑応答、グループワーク	第 5 回授業課題③ 第 6 回授業プリントの予習
6	日本の王権論（2）中世の天皇と将軍	講義、質疑応答、グループワーク	第 6 回授業課題④ 第 7 回授業プリントの予習
7	日本の王権論（3）明治以降の天皇制	講義、質疑応答、グループワーク	第 7 回授業課題⑤ 第 8 回授業プリントの予習
8	日本の宗教（1）仏教	講義、質疑応答、グループワーク	第 8 回授業課題⑥ 第 9 回授業プリントの予習
9	日本の宗教（2）神仏習合	講義、質疑応答、グループワーク	第 9 回授業課題⑦ 第 10 回授業プリントの予習
10	日本の宗教（3）キリシタンとキリスト教	講義、質疑応答、グループワーク	第 10 回授業課題⑧ 第 11 回授業プリントの予習
11	日本の宗教（4）江戸時代の宗教・明治の宗教	講義、質疑応答、グループワーク	第 11 回授業課題⑨ 第 12 回授業プリントの予習
12	日本の芸能（1）源氏物語	講義、質疑応答、グループワーク	第 12 回授業課題⑩ 第 13 回授業プリントの予習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
13	日本の芸能（2）琵琶法師	講義、質疑応答、グループワーク	第13回授業課題⑪ 第14回授業プリントの予習
14	日本の芸能（3）能と歌舞伎 レポートの説明	講義、質疑応答、グループワーク	第14回授業課題⑫ 第15回授業プリントの予習
15	日本の芸能（4）書物・浮世絵・料理 レポートの説明	講義、質疑応答、グループワーク	第15回授業課題⑬ 第16回授業プリントの予習
16	日本の家族観（1）江戸時代の婚姻・離婚	講義、質疑応答、グループワーク	第16回授業課題⑭ 第17回授業プリントの予習
17	日本の家族観（2）明治の教育と家族観の変化	講義、質疑応答、グループワーク	第17回授業課題⑮ 第18回授業プリントの予習
18	他国との交流（1）朝鮮半島との交流史	講義、質疑応答、グループワーク	第18回授業課題⑯ 第19回授業プリントの予習
19	他国との交流（2）日本を訪れた人々・日本から海外を訪ねた人々	講義、質疑応答、グループワーク	第19回授業課題⑰ 第20回授業プリントの予習
20	メディア文化（1）明治・大正時代のメディアと女性イメージ	講義、質疑応答、グループワーク	第21回授業プリントの予習 レポート作成準備
21	メディア文化（2）SNSの問題	講義、質疑応答、グループワーク	第22回授業プリントの予習 レポート作成準備
22	日本の自己イメージ－国勢調査、世論調査は何を語るか	講義、質疑応答、グループワーク	第23回授業プリントの予習 レポート作成準備
23	言語－「標準語」と「方言」、「日本語」と「英語」	講義、質疑応答、グループワーク	第24回授業プリントの予習 レポート作成準備
24	国文学とは何か レポート提出	講義、質疑応答、グループワーク、レポート提出	レポート作成準備 第25回授業プリントの予習
25	ポップカルチャー（1）アニメとマンガ	講義、質疑応答、グループワーク	第25回授業課題⑱ 第26回授業プリントの予習
26	ポップカルチャー（2）少女文化	講義、質疑応答、グループワーク	第26回授業課題⑲ 第27回授業プリントの予習
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
27	太平洋戦争をめぐるさまざまな議論	講義、質疑応答、グループワーク	第27回授業課題⑳
28	再び、「日本文化」とは何か レポートの講評	講義、質疑応答、グループワーク、講評	授業の振り返り

【その他 特記事項：変更なし】

その他 特記事項	
-------------	--

科目名	PHL310: 倫理学				担当教員	丹木 博一	
開講期	秋	開講時限	火金5限	研究室	4214	オフィスアワー	P.19を参照のこと

【授業実施方法】

授業実施方法	① 主に Zoom を用いたリアルタイム型の授業
--------	--------------------------

【授業の進め方】

授業の進め方	Zoom を用いたリアルタイム型の授業とし、教員による講義と質疑応答、および学生間の議論を中心に授業を進める。教員による資料の掲出、および学生によるリアクションペーパーや課題の提出は Moodle を通して行う。
--------	--

【評価方法：変更なし】 【評価基準：変更なし】

評価方法	①提出課題（17%）、②リアクションペーパー（28%）、③中間レポート（2,000字以上）（25%）、④定期試験（選択式問題と小論文）（30%）
評価基準	<p>提出課題：事前に指示した通り課題を行い提出できたかどうか。</p> <p>リアクションペーパー：授業で説明された倫理学の基本的な概念と学説の意味を、自分の言葉で正しく論述できるかどうか。</p> <p>中間レポート：倫理学説を一つ取り上げ、それが行為選択のための倫理規範をどのように考えているかを自分の言葉でわかりやすく説明した上で、自分の意見を論述展開できるかどうか。</p> <p>定期試験：定期試験期間中に実施する。内容は以下の通り。いずれも持ち込み不可。</p> <p>(i) 選択式の問題を課す。教科書を正しく理解していること。10%</p> <p>(ii) 700～800字の小論文を作成してもらう。15回目以降の授業で取り上げた倫理学者のなかから一人を選び、その学説のポイントを説明した上で、理由を挙げて賛否を述べること。20%</p>

【運営方法、教育手法：変更なし】 【準備学修（予習・復習）：変更なし】

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	導入 倫理学と政治哲学について	講義・ディスカッション・リアクションペーパー	教科書①の「はじめに」を読んでおく。
2	封建国家と近代国家	講義・ディスカッション・リアクションペーパー	教科書①pp.15-27 をていねいに読み、要約を提出する。
3	ボダンの主権概念	講義・ディスカッション・リアクションペーパー	教科書①pp.27-33 をていねいに読み、要約を提出する。
4	ホッブズの自然権論	講義・ディスカッション・リアクションペーパー	教科書①pp.41-53 をていねいに読み、要約を提出する。
5	ホッブズの設立によるコモン・ウェルス	講義・ディスカッション・リアクションペーパー	教科書①pp.54-67 をていねいに読み、要約を提出する。
6	スピノザの反復的契約論	講義・ディスカッション・リアクションペーパー	教科書①pp.73-97 をていねいに読み、要約を提出する。
7	ロックの所有権論	講義・DVD 視聴・ディスカッション・リアクションペーパー	教科書①pp.105-132 を読んでおく。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	ロックの自然権論	講義・ディスカッション・リアクションペーパー	教科書①pp.105-132 をていねいに読み、要約を提出する。
9	ルソーの社会契約論	講義・ディスカッション・リアクションペーパー	教科書①pp.139-166 をていねいに読み、要約を提出する。
10	ヒュームの共感概念	講義・ディスカッション・リアクションペーパー	教科書①pp.177-196 をていねいに読み、要約を提出する。
11	カントの義務倫理学	講義・ディスカッション・リアクションペーパー	教科書①pp.203-230 を読んでおく。
12	カントの平和論	DVD 視聴・講義・ディスカッション・リアクションペーパー	教科書①pp.203-230 をていねいに読み、要約を提出する。
13	ベンサム功利主義	DVD 視聴・講義・ディスカッション・リアクションペーパー	ベンサムについて調べてくる。
14	ミルの功利主義	DVD 視聴・講義・ディスカッション・リアクションペーパー	中間レポート提出。J.S.ミルについて調べてくる。
15	古代ギリシアにおける民主主義	講義・ディスカッション・リアクションペーパー	教科書②pp.3-17 をていねいに読み、要約を提出する。
16	ロールズのリベラリズム	講義・ディスカッション・リアクションペーパー	教科書②pp.19-69 を読んでおく。
17	ロールズの平等主義	DVD 視聴・講義・ディスカッション・リアクションペーパー	教科書②pp.19-69 をていねいに読み、要約を提出する。
18	ノージックのリバタリアニズム	講義・ディスカッション・リアクションペーパー	教科書②pp.71-112 を読んでおく。
19	リバタリアニズムとリベラリズムの関係	DVD 視聴・講義・ディスカッション・リアクションペーパー	教科書②pp.71-112 をていねいに読み、要約を提出する。
20	アリストテレスの徳倫理学	DVD 視聴・講義・ディスカッション・リアクションペーパー	アリストテレスの倫理学について事前に調べておく。
21	テイラーのコミュニタリアニズム	DVD 視聴・講義・ディスカッション・リアクションペーパー	チャールズ・テイラーについて事前に調べておく。
22	サンデルのコミュニタリアニズム	講義・ディスカッション・リアクションペーパー	教科書②pp.113-145 をていねいに読み、要約を提出する。
23	フェミニズム	講義・ディスカッション・リアクションペーパー	教科書②pp.147-180 をていねいに読み、要約を提出する。
24	コスモポリタニズム	講義・ディスカッション・リアクションペーパー	教科書②pp.181-211 をていねいに読み、要約を提出する。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
25	ナショナリズム	講義・ディスカッション・リアクションペーパー	教科書②pp.213-251 をていねいに読み、要約を提出する。
26	これからの世界に向けて	講義・ディスカッション・リアクションペーパー	教科書②pp.254-262 をていねいに読み、要約を提出する。
定期試験を実施する Final Exam will be held			
27	政治哲学としての倫理学と個人の生き方としての倫理学	講義・ディスカッション・リアクションペーパー	自分にとって重要な倫理学の問題は何かを考えてくる。
28	まとめ・期末試験のフィードバック	講義・ディスカッション・リアクションペーパー	どの倫理学者に最も共感を覚えたかを考えてくる。

【その他 特記事項：変更なし】

その他 特記事項	主体的な関心をもって授業に臨んで欲しい。分からない点や疑問がある場合は、どんどん質問してもらいたい。
-------------	--

科目名	SOC301: 平和と開発					担当教員	Thomas
開講期	秋	開講時限	火金5限	研究室	4211	オフィスアワー	P.19を参照のこと

【授業実施方法】

授業実施方法	① 主に Zoom を用いたリアルタイム型の授業
--------	--------------------------

【授業の進め方】

授業の進め方	The course procedure will be a combination of lecture, discussion, pair-work, and group work using the Zoom breakout room, presentation by students using PowerPoint slides, and Q&A. PowerPoint slides and other course materials used for lecture and students' presentations will be made available on Moodle. Quizzes will be conducted online using Google forms. All assignments must be submitted through Moodle.
--------	--

【評価方法：変更なし】 【評価基準：変更なし】

評価方法	Class participation (40%), quiz (20%), Presentation (20%), Research report (20%)
評価基準	To be distributed at the first class.

【運営方法、教育手法：変更なし】 【準備学修（予習・復習）：変更なし】

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Introduction to the course, course materials, class policies, evaluation criteria	lecture, discussion, Q&A	read syllabus
2	Developed countries and developing countries, OCED, G8, G20, BRICS	lecture, reading, group work, discussion	read handouts, do preview sheet, prepare for discussion
3	What is development? Relation between development and peace	lecture, reading, group work, discussion	read handouts, do preview sheet, prepare for discussion
4	Introduction to Millennium Development Goals (MDGs), history of MDGs	lecture, group work, discussion, quiz	read handouts, do preview sheet, prepare for quiz
5	Achievements of MDGs – Goals 1 - 4	lecture, reading, group work, discussion	read handouts, do preview sheet, prepare for discussion
6	Achievements of MDGs – Goals 5 - 8	lecture, reading, group work, discussion	read handouts, do preview sheet, prepare for discussion
7	From MDGs to Sustainable Development Goals (SDGs)	lecture, reading, group work, discussion, quiz	read handouts, do preview sheet, prepare for quiz
8	SDG 1: No poverty	lecture, reading, group work, discussion	read handouts, do preview sheet, prepare for discussion
9	SDG 2: Zero hunger	lecture, reading, group work, discussion	read handouts, do preview sheet, prepare for discussion
10	SDG 3: Good health and well-being	lecture, reading, group work, discussion, quiz	read handouts, do preview sheet, prepare for quiz
11	SDG 4: Quality education	lecture, reading, group work, discussion	read handouts, do preview sheet, prepare for discussion
12	SDG 5: Gender equality	lecture, reading, group work, discussion	read handouts, do preview sheet, prepare for discussion
13	SDG 6: Clean water and sanitation, group presentation	lecture, reading, group work, discussion	Prepare for group presentation
14	SDG 7: Affordable and clean energy, group presentation	lecture, reading, group work, discussion, quiz	read handouts, do preview sheet, prepare for quiz

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
15	SDG 8: Decent work and economic growth, group presentation	lecture, reading, group work, discussion	read handouts, do preview sheet, prepare for discussion
16	SDG 9: Industry, innovation and infrastructure, group presentation	lecture, reading, group work, discussion	read handouts, do preview sheet, prepare for discussion
17	SDG 10: Reduced inequalities, group presentation	lecture, reading, group work, discussion, quiz	read handouts, do preview sheet, prepare for quiz
18	SDG 11: Sustainable cities and communities, group presentation	lecture, reading, group work, discussion	read handouts, do preview sheet, prepare for discussion
19	SDG 12: Responsible consumption and production, group presentation	lecture, reading, group work, discussion	read handouts, do preview sheet, prepare for discussion
20	SDG 13: Climate action, group presentation	lecture, reading, group work, discussion, quiz	read handouts, do preview sheet, prepare for quiz
21	SDG 14: Life below water	lecture, reading, group work, discussion	read handouts, do preview sheet, prepare for discussion
22	SDG 15: Life on land	lecture, reading, group work, discussion	read handouts, do preview sheet, prepare for discussion
23	SDG 16: Peace, justice and strong institutions	lecture, reading, group work, discussion, quiz	read handouts, do preview sheet, prepare for quiz
24	SDG 17: Partnerships for the goals	lecture, reading, group work, discussion	read handouts, do preview sheet, prepare for discussion
25	Research presentation by students (group 1)	lecture, reading, group work, discussion	read handouts, do preview sheet, prepare for presentation
26	Research presentation by students (group 2)	lecture, reading, group work, discussion	read handouts, do preview sheet, prepare for presentation
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Research presentation by students (group 3)	lecture, reading, group work, discussion	read handouts, do preview sheet, prepare for presentation
28	Recap of the course, Submission of individual research report	discussion, feedback, Q&A	submit your research report

【その他 特記事項：変更なし】

その他 特記事項	Since this course is offered in English, students are expected to read the handouts beforehand, check the meaning of new vocabulary, and prepare for discussion in every class.
-------------	---

科目名	LIT325: フランスの文化と文学				担当教員	谷口 清彦	
開講期	秋	開講時限	木5限	研究室	4号館2階 講師控室	オフィスアワー	P.19を参照のこと

【授業実施方法】

授業実施方法	③ 主に音声や映像はなく提示された資料を読んで課題を解くオンデマンド型の授業
--------	--

【授業の進め方】

授業の進め方	学生は毎回、資料記載の問いに答え、Moodle上に提出する（リアクション・ペーパー）。 期末試験はおこなわず、学生各自が作品を読み、期末レポートを提出する。
--------	---

【評価方法：変更なし】 【評価基準：変更なし】

評価方法	リアクションペーパー（50%）、学期末レポート（50%）
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> 各授業でのテーマや内容が理解できているか（リアクションペーパー） 作品や作家の背景をふまえつつ、自分なりの視点から作品が受容できているか（学期末レポート）

【運営方法、教育手法：変更あり】 【準備学修（予習・復習）：変更あり】

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	ガイダンス 批判的な文化受容のために：ジル・ドゥルーズによる作家という問い	講義・リアクションペーパーの提出	テキスト pp.15-23 を読んでおく
2	19世紀への導入にかえて：ジャン＝ジャック・ルソーと自然	講義・リアクションペーパーの提出	テキスト pp.113-118 を読んでおく
3	小説・自然・社会①：ヴィクトル・ユゴー	講義・リアクションペーパーの提出	テキスト pp.149-154 を読んでおく
4	小説・自然・社会②：オノレ・ド・バルザック	講義・リアクションペーパーの提出	テキスト pp.165-169 を読んでおく
5	詩と革命①：シャルル・ボードレール	講義・リアクションペーパーの提出	テキスト pp.193-196 を読んでおく
6	詩と革命②：アルチュール・ランボー	講義・リアクションペーパーの提出	テキスト pp.210-212 を読んでおく
7	印象派の美学	講義・リアクションペーパーの提出	テキスト pp.133-136 を読んでおく
8	20世紀への導入にかえて：マルセル・プルーストと「真の生」	講義・リアクションペーパーの提出	テキスト pp.218-220 を読んでおく
9	アラン：幸福という義務	講義・リアクションペーパーの提出	テキスト pp.271-277 を読んでおく
10	シモーヌ・ヴェイユ：不幸の哲学	講義・リアクションペーパーの提出	配布プリントを読んでおく
11	アルベール・カミュ：暴力と小説	講義・リアクションペーパーの提出	テキスト pp.257-262 を読んでおく
12	ジャック・プレヴェール：万人の詩学	講義・リアクションペーパーの提出	テキスト pp.264-265 を読んでおく
13	ヌーヴェル・ヴァーグ：風景の映像学	講義・リアクションペーパーの提出	学期末レポートの準備

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	まとめにかえて：ドゥルーズと創造行為の問い	講義・リアクションペーパーの提出	学期末レポートの作成

【その他 特記事項：変更なし】

その他 特記事項	フランス語学習者でなくとも受講できます。
-------------	----------------------

科目名	LIT320: 演劇研究				担当教員	飯田 純也	
開講期	秋	開講時限	火金1限	研究室	4216	オフィスアワー	P.19を参照のこと

【授業実施方法】

授業実施方法	④ ①～③の組み合わせ
	<p>授業時間は Zoom 型とオンデマンド型の合計時間 準備学修時間は上記の事前事後の（期末レポート、小論文、シャトルカードの作成、発表の準備を含む）準備学修の合計時間</p> <p>毎回 Zoom 上で授業を開始。講義、質疑応答、ペアワーク、学生発表、ディスカッションのうち Zoom では Zoom でしかできない活動を優先的に行う。講義はできる限り事前に動画を用意する。ディスカッションはできる限り事前に映像資料付アンケート（Google Form）を用意する。シャトルカード、小論文の提出は Moodle 上で行う。</p>

【授業の進め方】

授業の進め方	<p>「授業計画」の詳細を Moodle 上で指示する。履修者はこの指示に従い、事前にオンデマンド配信の講義及び課題資料を予習復習し、準備学修内容をシャトルカードに記入する。授業はペアワーク、ディスカッション、そして学生発表を主体にして行う。授業終了後シャトルカードに授業での学習内容を加え提出する。</p> <p>3 回目の授業から学生に発表の機会を与えるので積極的に発表してほしい。授業「分析の手がかり」では学生の発表、質疑応答、教員の講義の順で行い、次の授業「討論」ではディスカッションを行う。履修者はこのディスカッションを基に小論文を書く。</p>
--------	--

【評価方法：変更あり】 【評価基準：変更なし】

評価方法	1. 小論文が 7 回の提出で計 40%、2. 期末レポートが 20%、3. 発表が 10%、4. 授業参加状況が 30%。授業参加は毎回授業後提出するシャトルカードによって評価する。
評価基準	詳細は初回授業時に説明する。

【運営方法、教育手法：変更なし】 【準備学修（予習・復習）：変更あり】

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	授業紹介 The origin of drama as ritual	講義、質疑応答、ディスカッション	百科辞典で授業のキーワードを調べる
2	演劇論 Tragedies and comedies	講義、質疑応答、ディスカッション	課題資料の予習
3	Sophocles, <i>Oedipus the King</i> (1) 物語の確認、分析の手がかり	講義、質疑応答、ディスカッション	課題資料（英文）の予習、筋と要点をノート
4	Sophocles, <i>Oedipus the King</i> (2) 分析の手がかり	講義、質疑応答、ディスカッション	課題資料（英文）の予習、筋と要点をノート
5	Sophocles, <i>Oedipus the King</i> (3) 討論	講義、学生発表、ディスカッション	課題資料（英文）の予習、筋と要点をノート
6	Sophocles, <i>Oedipus at Colonus</i> (1) 分析の手がかり	講義、質疑応答、ディスカッション	課題資料（英文）の予習、筋と要点をノート
7	Sophocles, <i>Oedipus at Colonus</i> (2) 討論	講義、学生発表、ディスカッション	小論文 no. 1 の準備（提出は次回授業時）

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	Seneca, <i>Oedipus</i> (1) 分析の手がかり	講義、質疑応答、ディスカッション	課題資料（英文）の予習、筋と要点をノート
9	Seneca, <i>Oedipus</i> (2) 討論	講義、学生発表、ディスカッション	小論文 no. 2 の準備（提出は次回授業時）
10	プラトン vs アリストテレス (1) <i>Plato's Republic</i>	講義、質疑応答、ディスカッション	課題資料（英文）の予習、要点をノート
11	プラトン vs アリストテレス (2) <i>Aristotle's Poetics</i>	講義、質疑応答、ディスカッション	課題資料（英文）の予習、要点をノート
12	プラトン vs アリストテレス (3) <i>Aristotle's Nicomachean Ethics</i>	講義、学生発表、ディスカッション	小論文 no. 3 の準備（提出は次回授業時）
13	Sophocles, <i>Antigone</i> (1) 分析の手がかり	講義、質疑応答、ディスカッション	課題資料（英文）の予習、筋と要点をノート
14	Sophocles, <i>Antigone</i> (2) 討論	講義、学生発表、ディスカッション	小論文 no. 4 の準備（提出は次回授業時）
15	Shakespeare, Tragedies, <i>Hamlet</i> (1) 分析の手がかり	講義、質疑応答、ディスカッション	課題資料（英文）の予習、筋と要点をノート
16	Shakespeare, Tragedies, <i>Hamlet</i> (2) 討論	講義、学生発表、ディスカッション	課題資料（英文）の予習、筋と要点をノート
17	Shakespeare, Tragedies, <i>King Lear</i> (1) 分析の手がかり	講義、質疑応答、ディスカッション	課題資料（英文）の予習、筋と要点をノート
18	Shakespeare, Tragedies, <i>King Lear</i> (2) 討論	講義、学生発表、ディスカッション	小論文 no. 5 の準備（提出は次回授業時）
19	Aristophanes, <i>Lysistrata</i> (1) 分析の手がかり	講義、質疑応答、ディスカッション	課題資料（英文）の予習、筋と要点をノート
20	Aristophanes, <i>Lysistrata</i> (2) 討論	講義、学生発表、ディスカッション	小論文 no. 6 の準備（提出は次回授業時）
21	Shakespeare, Comedies, <i>The Midsummer Night's Dream</i> (1) 分析の手がかり	講義、質疑応答、ディスカッション	課題資料（英文）の予習、筋と要点をノート
22	Shakespeare, Comedies, <i>The Midsummer Night's Dream</i> (2) 討論	講義、学生発表、ディスカッション	課題資料（英文）の予習、筋と要点をノート
23	Shakespeare, Comedies, <i>Much Ado About Nothing</i> (1) 分析の手がかり	講義、質疑応答、ディスカッション	課題資料（英文）の予習、筋と要点をノート
24	Shakespeare, Comedies, <i>Much Ado About Nothing</i> (2) 討論	講義、学生発表、ディスカッション	課題資料（英文）の予習、筋と要点をノート
25	Shakespeare, Comedies, <i>Twelfth Night</i> (1) 分析の手がかり	講義、質疑応答、ディスカッション	課題資料（英文）の予習、筋と要点をノート
26	Shakespeare, Comedies, <i>Twelfth Night</i> (2) 討論	講義、学生発表、ディスカッション	小論文 no. 7 の準備（提出は定期試験前日）
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
27	期末レポート作成	グループワークで相互発表・評価	期末レポートの準備
28	学生発表総括	ボランティア学生の発表、講評	期末レポートの提出

【その他 特記事項：変更なし】

その他 特記事項	
-------------	--

科目名	LIT321: 小説研究				担当教員	永野 良博	
開講期	秋	開講時限	月木5限	研究室	4218	オフィスアワー	P.19 を参照のこと

【授業実施方法】

授業実施方法	① 主に Zoom を用いたリアルタイム型の授業
--------	--------------------------

【授業の進め方】

授業の進め方	Zoom を用いたリアルタイムの授業とし、教員による講義と質疑応答、学生による口頭発表と質疑応答、そして学生間の議論を中心に授業を進める。教員による講義や学生による発表に必要な資料は画面共有を通して確認しながら進める。学生間の議論は、全員が Zoom に参加した状態とブレイクアウト・ルームの双方で行うが、後者の場合は各自が参加したことを示す文章を作成し授業内で共有しながら進める。教員の資料掲出、学生の発表資料及び課題提出は Loyola を通して行う。
--------	--

【評価方法：変更なし】 【評価基準：変更なし】

評価方法	授業参加 (30%)、発表 (30%)、論文 (40%)
評価基準	日々の授業参加では、小説技法と批評理論の基本事項を理解し、また小説の内容を正確に理解し、自らの想像力を駆使して得た洞察を含む意見を明確に述べるのが求められる。口頭発表では、小説と第二次資料の内容の重要な点を適切に判断し理解した上で文章にまとめ、その上で自らの意見を明確で論理的に述べるのが重要である。論文作成では、自分が研究対象として選んだ小説一作品を英語で読み、その内容に関して授業で扱った文学研究のアプローチを活用しながら、自ら設定した主題を明確に説明し、それを論理性と構成力を持って発展させ、意義ある結論に到達することが重要である。

【運営方法、教育手法：変更なし】 【準備学修（予習・復習）：変更なし】

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	【小説技法導入】ストーリーとプロット 【小説作品導入】 M. Shelley, <i>Frankenstein</i>	講義、議論	『批評理論入門』 pp. 4-21 <i>Frankenstein</i> 第 1 巻
2	ストーリー、プロット、サスペンス 冒険家の手紙、生い立ち、母の死	講義、議論	『批評理論入門』 pp. 4-21 <i>Frankenstein</i> 第 1 巻
3	語り手、粹物語、語り手の人称と信頼性 科学への傾倒、生命の根源への興味	講義、議論	『批評理論入門』 pp. 22-33 <i>Frankenstein</i> 第 1 巻
4	焦点化、外的焦点化、内的焦点化 人造人間の制作、傲慢さがもたらすもの	講義、発表、質疑応答、議論	『批評理論入門』 pp. 34-47 <i>Frankenstein</i> 第 1 巻
5	提示と叙述、時間、速度 人造人間、醜悪さの他者性とその拒絶	講義、発表、質疑応答、議論	『批評理論入門』 pp. 48-62 <i>Frankenstein</i> 第 1 巻
6	性格描写、アイロニー、声 弟の死、召使の死	講義、発表、質疑応答、議論	『批評理論入門』 pp. 63-80 <i>Frankenstein</i> 第 1 巻
7	イメージラリー、反復、異化 憎悪、復讐、怪物の孤独	講義、発表、質疑応答、議論	『批評理論入門』 pp. 81-94 <i>Frankenstein</i> 第 2 巻
8	間テクスト性、メタフィクション、結末 他者への偏見、共同体からの排除	講義、発表、質疑応答、議論	『批評理論入門』 pp. 95-112 <i>Frankenstein</i> 第 2 巻
9	【批評理論】伝統、ジャンル、読者反応 呪われし存在、伴侶の希求	講義、発表、質疑応答、議論	『批評理論入門』 pp. 113-142 <i>Frankenstein</i> 第 2 巻
10	脱構築、精神分析 新たな人造人間の制作とその解体	講義、発表、質疑応答、議論	『批評理論入門』 pp. 143-168 <i>Frankenstein</i> 第 3 巻

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
11	フェミニズム、ジェンダー、マルクス主義 怪物の復讐、花嫁の死、怪物の追跡	講義、発表、質疑応答、議論	『批評理論入門』 pp.169 -190 <i>Frankenstein</i> 第 3 巻
12	文化批評、ポストコロニアリズム 北極への旅、怪物の独白、孤独	講義、発表、質疑応答、議論	『批評理論入門』 pp. 191-217 <i>Frankenstein</i> 第 3 巻
13	新歴史主義、文体論、透明な批評 <i>Frankenstein</i> まとめ	講義、発表、質疑応答、議論	『批評理論入門』 pp. 218 -235 <i>Frankenstein</i> 第 3 巻
14	【小説作品導入、技法と理論応用】 <i>Of Mice and Men</i> 社会参加、社会不適合者の生	講義、発表、質疑応答、議論	<i>Of Mice and Men</i> 第 1-2 章 『批評理論入門』 選択箇所
15	自律性、動物と人間の生の尊厳、生命剥奪、土地所有、人種差別、権利剥奪	講義、発表、質疑応答、議論	<i>Of Mice and Men</i> 第 3-4 章 『批評理論入門』 選択箇所
16	社会不適合者と女性の抑圧、殺人、逃亡、友人の殺害、夢の崩壊	講義、発表、質疑応答、議論	<i>Of Mice and Men</i> 第 5-6 章 『批評理論入門』 選択箇所
17	<i>Of Mice and Men</i> まとめ 小説技法と批評理論応用まとめ	講義、発表、質疑応答、議論	<i>Of Mice and Men</i> 第 1-6 章 『批評理論入門』 選択箇所
18	【小説作品導入、技法と理論応用】 <i>The Catcher in the Rye</i> 追放、虚偽的社会的拒絶	講義、発表、質疑応答、議論	<i>Catcher in the Rye</i> 第 1-3 章 『批評理論入門』 選択箇所
19	隣人との関係、貧富の差、虚偽の友情、自己愛、嫉妬、弟の死、トラウマ	講義、発表、質疑応答、議論	<i>Catcher in the Rye</i> 第 4-6 章 『批評理論入門』 選択箇所
20	孤独、偽りの誠実さ、止まらない嘘、電話での繋がり、夜のホテル	講義、発表、質疑応答、議論	<i>Catcher in the Rye</i> 第 7-9 章 『批評理論入門』 選択箇所
21	妹との繋がり、他者への敬意の欠如、未成熟な異性への感情、虚偽的な夜の世界	講義、発表、質疑応答、議論	<i>Catcher in the Rye</i> 第 10-12 章 『批評理論入門』 選択箇所
22	売春、恐喝、階級差の認識、宗教に関する考察	講義、発表、質疑応答、議論	<i>Catcher in the Rye</i> 第 13-15 章 『批評理論入門』 選択箇所
23	深まる鬱状態、子供達との繋がり、役者の虚偽性、恋人、嫉妬、階級差と劣等感	講義、発表、質疑応答、議論	<i>Catcher in the Rye</i> 第 16-18 章 『批評理論入門』 選択箇所
24	精神治療、孤独と鬱状態、家への帰還、妹との対話	講義、発表、質疑応答、議論	<i>Catcher in the Rye</i> 第 19-21 章 『批評理論入門』 選択箇所
25	妹との対話、友人の自殺、父の仕事、教師との対話、転落の予感、同性愛	講義、発表、質疑応答、議論	<i>Catcher in the Rye</i> 第 22-24 章 『批評理論入門』 選択箇所
26	西部移住の空想、クリスマス、再生の可能性	講義、発表、質疑応答、議論	<i>Catcher in the Rye</i> 第 25-26 章 『批評理論入門』 選択箇所
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
27	<i>The Catcher in the Rye</i> まとめ 小説技法と批評理論応用まとめ	講義、発表、質疑応答、議論	<i>Catcher in the Rye</i> 第 1-26 章 『批評理論入門』 pp.4-235
28	論文概要発表	発表、質疑応答	論文概要作成

【その他 特記事項：変更なし】

その他 特記事項	
-------------	--

科目名	LIT322: 映画と文学				担当教員	飯田 純也	
開講期	秋	開講時限	火金4限	研究室	4216	オフィスアワー	P.19を参照のこと

【授業実施方法】

授業実施方法	④ ①～③の組み合わせ
	<p>授業時間は Zoom 型とオンデマンド型の合計時間 準備学修時間は上記の事前事後の（課題映画の視聴時間、シャトルカード、小論文の作成、定期試験、発表の準備を含む）準備学修の合計時間</p> <p>毎回 Zoom 上で授業を開始。講義、質疑応答、ペアワーク、学生発表、ディスカッションのうち Zoom では Zoom でしかできない活動を優先的に行う。講義はできる限り事前に動画を用意する。ディスカッションはできる限り事前に映像資料付アンケート（Google Form）を用意する。シャトルカード及び小論文の提出は Moodle 上で行う。</p>

【授業の進め方】

授業の進め方	<p>授業は「授業計画」通り展開する。履修者は先取りして課題の映画の視聴を計画的に実行してほしい。入手が難しい課題があれば飛ばして先に進んでほしい。各回の授業前に課題の視聴を終えるのが望ましいが、実際の視聴が授業後になる場合、視聴終了後再度シャトルカードを提出してほしい。評価は再提出後のシャトルカードで行う。</p> <p>6回以降の授業では学生に発表の機会を与えるので積極的に発表してほしい。授業は学生の発表、質疑応答、教員の講義の順で行い、次の授業でディスカッションを行う。履修者はこのディスカッションを基に小論文を書く。</p>
--------	--

【評価方法：変更あり】 【評価基準：変更なし】

評価方法	<ul style="list-style-type: none"> 小論文：作品の背景を理解した上で、作品を分析、批判、評価できているか、計 40% 発表と定期試験：何が問題か理解できているか、問題を分析し、根拠を上げ、自分の文章で論述しているか、発表 20%、定期試験 20% 毎回授業後提出するシャトルカード：問題意識をもって映画を見る習慣ができているか、計 20%
評価基準	詳細は初回授業時に説明する。

【運営方法、教育手法：変更なし】 【準備学修（予習・復習）：変更なし】

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Introduction to Film and Literature <i>Hugo</i> (2011)	講義、課題 DVD 視聴 リスト配布	課題リストを基に DVD の入手先を各自検討
2	discussion: <i>Hugo</i> <i>Cinema Paradiso</i> (1988)	講義、DVD 視聴、ペアワーク	課題 DVD を視聴、ノートの作成（筋、人物、意見）
3	discussion: <i>Cinema Paradiso</i> Chaplin: <i>The Kid</i> , <i>Modern Times</i> , etc.	講義、DVD 視聴、ペアワーク	課題 DVD を視聴、ノートの作成（筋、人物、意見）
4	discussion: <i>The Kid</i> , <i>Modern Times</i> , etc. Chaplin: <i>The Great Dictator</i> (1940)	講義、DVD 視聴、ペアワーク	課題 DVD を視聴、ノートの作成（筋、人物、意見）
5	discussion: <i>The Great Dictator</i>	発表、ディスカッション	発表準備、小論文 no. 1 の準備（提出は次回授業時）
6	Drama: <i>What's Eating Gilbert Grape</i> (1993), <i>Rain Man</i> (1988), <i>I Am Sam</i> (2001), etc.	講義、DVD 視聴、ペアワーク	課題 DVD を視聴、ノートの作成（筋、人物、意見）
7	discussion: <i>WEGG</i> , <i>RM</i> , <i>IAS</i> , etc. Drama: <i>The Theory of Everything</i> (2014)	講義、DVD 視聴、ペアワーク	課題 DVD を視聴、ノートの作成（筋、人物、意見）

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	discussion: <i>The Theory of Everything</i> Epic: <i>War and Peace</i> , <i>Doctor Zhivago</i>	発表、ディスカッション	課題 DVD を視聴、ノートの作成、発表準備
9	discussion: <i>War and Peace</i> , <i>Doctor Zhivago</i> Epic: <i>Dances with Wolves</i> , <i>Legends of the Fall</i>	講義、DVD 視聴、ペアワーク	課題 DVD を視聴、ノートの作成（筋、人物、意見）
10	discussion: <i>DWW</i> , <i>LOTF</i> Epic: <i>Les Misérables</i> (2012)	講義、DVD 視聴、ペアワーク	課題 DVD を視聴、ノートの作成（筋、人物、意見）
11	discussion: <i>Les Misérables</i>	発表、ディスカッション	発表準備、小論文 no. 2 の準備（提出は次回授業時）
12	SF: <i>Metropolis</i> , <i>2001: A Space Odyssey</i> , <i>The Time Machine</i> , <i>The War of the Worlds</i> , <i>Avatar</i>	講義、DVD 視聴、ペアワーク	課題 DVD を視聴、ノートの作成（筋、人物、意見）
13	discussion: SF films	発表、ディスカッション	課題 DVD を視聴、ノートの作成、発表準備
14	Dystopia: <i>Nineteen Eighty-Four</i> (1984), <i>The Hunger Games</i> (2012, 2013, 2014, 2015)	講義、DVD 視聴、ペアワーク	課題 DVD を視聴、ノートの作成（筋、人物、意見）
15	discussion: <i>The Hunger Games</i> trilogy	発表、ディスカッション	発表準備、小論文 no. 3 の準備（提出は次回授業時）
16	War: <i>The Cold Mountain</i> , <i>The Red Baron</i> , <i>A Bridge Too Far</i> , <i>Nuremberg</i> , etc.	発表、ディスカッション	課題 DVD を視聴、ノートの作成、発表準備
17	War: <i>Thirteen Days</i> (2000) discussion: <i>Thirteen Days</i>	発表、ディスカッション	課題 DVD を視聴、ノートの作成、発表準備
18	Propaganda: Eisenstein, Riefenstahl, <i>Casablanca</i> (1942), <i>Welcome to Sarajevo</i> (1998)	講義、DVD 視聴、ペアワーク	課題 DVD を視聴、ノートの作成（筋、人物、意見）
19	discussion: <i>Welcome to Sarajevo</i> Introduction to independent research	発表、ディスカッション	発表準備、小論文 no. 4 の準備（提出は次回授業時）
20	Music: <i>The Sound of Music</i> , <i>Amadeus</i> , <i>The Phantom of the Opera</i> , <i>La La Land</i> , etc.	講義、発表、ディスカッション	課題 DVD を視聴、ノートの作成（筋、人物、意見）
21	discussion: Music films	発表、ディスカッション	課題 DVD を視聴、ノートの作成（筋、人物、意見）
22	Race: <i>The Color Purple</i> (1985), <i>12 Years a Slave</i> (2013)	発表、ディスカッション、講義	課題 DVD を視聴、ノートの作成、発表準備
23	Marriage: <i>Pride and Prejudice</i> (1995), <i>Bridget Jones</i> film series (2001, 2004)	発表、ディスカッション、講義	課題 DVD を視聴、ノートの作成、発表準備
24	Fantasy: <i>Harry Potter</i> , <i>Star Wars</i> , <i>The Lord of the Rings</i> film series	発表、ディスカッション、講義	課題 DVD を視聴、ノートの作成、発表準備
25	Japanese films: Kurosawa (<i>Seven Samurai</i> , etc.), Ozu (<i>Tokyo Story</i> , etc.)	発表、ディスカッション、講義	課題 DVD を視聴、ノートの作成、発表準備
26	Japanese films: Miyazaki (<i>Princess Mononoke</i> , <i>Ponyo</i> , <i>From Up on Poppy Hill</i> , etc.)	発表、ディスカッション	発表準備、小論文 no. 5 の準備（提出は定期試験時）
	定期試験を実施する Final Exam will be held		
27	Romance: <i>Pretty Woman</i> , <i>50 First Dates</i> , <i>P.S. I Love You</i> , <i>The Notebook</i>	発表、講義、シャトルカードの返却	課題 DVD を視聴、ノートの作成、発表準備
28	定期試験の返却と講評	講義、振り返り	シャトルカードの読み返しと学修内容の振り返り

【その他 特記事項：変更あり】

その他 特記事項	履修を決める前に上記の映画が入手可能か検討してほしい。とりあえず Moodle 上の授業に登録、「サービス別入手可能映画リスト」を参考に履修を決めてください。
-------------	---

科目名	LNG305: 音声学				担当教員	吉田 夏也	
開講期	秋	開講時限	火金3限	研究室	4号館2階 講師控室	オフィスアワー	P.19を参照のこと

【授業実施方法】

授業実施方法	② 解説音声付のパワーポイントなどを用いたオンデマンド型の授業をおこなう。
--------	---------------------------------------

【授業の進め方】

授業の進め方	Moodle上に資料（解説付き）を置きます。資料内の指示にしたがって学習してください。
--------	---

【評価方法：変更なし】 【評価基準：変更なし】

評価方法	授業内試験（3回程度実施するが、受講生の理解度に応じて実施回数は増減することがある） 60%；理解度チェック問題 40%
評価基準	授業内試験によって、音声に関する知識の理解、および言語音の特徴の理解と音声学領域の理解を評価する。 理解度チェック問題（課題）は主に言語音に関する観察と補助的な知識の理解を評価する。

【運営方法、教育手法：変更あり】 【準備学修（予習・復習）：変更あり】

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	言語学・音声学とは	講義・実践・質疑応答	配布資料の予習、授業内容の復習、課題の提出
2	音響音声学【音の物理的側面：表示①】	講義・実践・質疑応答	配布資料の予習、授業内容の復習、課題の提出
3	音響音声学【音の物理的側面：性質】	講義・実践・質疑応答	配布資料の予習、授業内容の復習、課題の提出
4	音響音声学【音の物理的側面：伝播】	講義・実践・質疑応答	配布資料の予習、授業内容の復習、課題の提出
5	音響音声学【音の物理的側面：動的性質】	講義・実践・質疑応答	配布資料の予習、授業内容の復習、課題の提出
6	音響音声学【音の物理的側面：音の単位】	講義・実践・質疑応答	配布資料の予習、授業内容の復習、課題の提出
7	音響音声学【音の物理的側面：表示②】	講義・実践・質疑応答	授業内容の復習、試験の準備
8	まとめとテスト	講義・試験	試験内容の復習
9	調音音声学【発音と体の仕組み】	講義・実践・質疑応答・試験講評	配布資料の予習、授業内容の復習、課題の提出
10	調音音声学【発声】	講義・実践・質疑応答	配布資料の予習、授業内容の復習、課題の提出
11	調音音声学【発音をする場所】	講義・実践・質疑応答	配布資料の予習、授業内容の復習、課題の提出
12	調音音声学【発音の運動】	講義・実践・質疑応答	配布資料の予習、授業内容の復習、課題の提出
13	音響音声学【母音の音響的特徴】	講義・実践・質疑応答	配布資料の予習、授業内容の復習、課題の提出

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
14	音響音声学【子音の音響的特徴】	講義・実践・質疑応答	配布資料の予習、授業内容の復習、課題の提出
15	音響音声学【言語音の線形モデル】	講義・実践・質疑応答	配布資料の予習、授業内容の復習、課題の提出
16	音響音声学【言語音の表示方法】	講義・実践・質疑応答	授業内容の復習、試験の準備
17	まとめとテスト	講義・試験	試験内容の復習
18	日本語と英語の音響的特徴	講義・実践・質疑応答・試験講評	配布資料の予習、授業内容の復習、課題の提出
19	日本語と英語の韻律的特徴	講義・実践・質疑応答	配布資料の予習、授業内容の復習、課題の提出
20	聴覚音声学【聴覚の仕組み】	講義・実践・質疑応答	配布資料の予習、授業内容の復習、課題の提出
21	聴覚音声学【聴覚神経情報の仕組み】	講義・実践・質疑応答	配布資料の予習、授業内容の復習、課題の提出
22	聴覚音声学【聴覚心理：音の大きさ】	講義・実践・質疑応答	配布資料の予習、授業内容の復習、課題の提出
23	聴覚音声学【聴覚心理：マスキング】	講義・実践・質疑応答	配布資料の予習、授業内容の復習、課題の提出
24	聴覚音声学【聴覚心理：臨界帯域】	講義・実践・質疑応答	配布資料の予習、授業内容の復習、課題の提出
25	聴覚音声学【聴覚心理：音の高さ】	講義・実践・質疑応答	配布資料の予習、授業内容の復習、課題の提出
26	聴覚音声学【聴覚心理：聴空間知覚】	講義・実践・質疑応答	授業内容の復習、試験の準備
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
27	まとめとテスト	講義・試験	試験内容の復習
28	すべてのまとめ	講義・試験講評	授業内容の復習

【その他 特記事項：変更あり】

その他 特記事項	質問は、授業時間内にメール（資料内に記載）でお願いします。なお、返信が遅れる場合があります。あしからずご了承ください。
-------------	---

科目名	LNG330: 日本語学				担当教員	宮崎 幸江	
開講期	秋	開講時限	月 4 限	研究室	4217	オフィスアワー	P.19 を参照のこと

【授業実施方法】

授業実施方法	① 主に Zoom を用いたリアルタイム型の授業
--------	--------------------------

【授業の進め方】

授業の進め方	Zoom を用いたリアルタイムの授業とし、教員による講義と質疑応答、学生による口頭発表と質疑応答、そして学生間の議論を中心に授業を進める。教員による講義や学生による発表に必要な資料は画面共有を通して確認しながら進める。学生間の議論は、全員が Zoom に参加した状態とブレイクアウト・ルームの双方で行う。教員の資料掲出、学生の発表資料及び課題提出は Moodle を通して行う。
--------	---

【評価方法：変更なし】 【評価基準：変更なし】

評価方法	① 授業への積極参加 20% ② 小テスト 30% ③ 定期試験 50%
評価基準	① 授業への参加：授業内のディスカッションや発言を評価する。 ② 小テスト：高校まで習ってきた学校文法とは異なる文法理解を評価する。 ③ 定期試験：日本語をひとつの言語として客観的に捉え、日本語の言語使用をデータや例文を提示しながら記述できるかどうか評価する。

【運営方法、教育手法：変更なし】 【準備学修（予習・復習）：変更なし】

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	日本語の音と形 発音、特殊拍	講義、ディスカッション、質疑応答	教科書全体を概観してくる。
2	日本語の音と形 五十音、音素と異音	講義、ディスカッション、質疑応答	発音、特殊拍の復習と 8～12 頁を読む。
3	日本語の音と形 アクセント、短縮語 小テスト	講義、ディスカッション、質疑応答	13～20 頁を読む。小テストの準備。
4	日本語の文法 動詞の活用	講義、ディスカッション、質疑応答	アクセント、短縮形の復習と 21～24 頁を読む。
5	日本語の文法 格助詞	講義、ディスカッション、質疑応答	動詞の活用の復習と 25～27 頁を読む。
6	日本語の文法 使役 試験の返却及び解説	講義、ディスカッション、質疑応答	格助詞の復習と 28～30 頁を読む。
7	日本語の文法 受身	講義、ディスカッション、質疑応答	使役の復習と 31～34 頁を読む。
8	日本語の文法 テンス、モダリティ 小テスト	講義、ディスカッション、質疑応答	受身の復習と 35～42 頁を読む。小テストの準備。
9	日本語らしい表現 省略、「は」と「が」、とりたて助詞	講義、ディスカッション、質疑応答	テンス、モダリティの復習と 43～50 頁を読む。
10	日本語らしい表現 授受表現、試験の返却及び解説	講義、ディスカッション、質疑応答	「は」と「が」の復習と 51～56 頁を読む。
11	日本語らしい表現 敬語、中間言語 小テスト	講義、ディスカッション、質疑応答	授受表現の復習と 57～64 頁を読む。小テストの準備。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
12	日本語の変化と多様性 ら抜きことば	講義、ディスカッション、質疑応答	敬語、中間言語の復習と 65～70 頁を読む。
13	日本語の変化と多様性 方言、言葉の位相 試験の返却及び解説	講義、ディスカッション、質疑応答	ら抜きことばの復習と 69～83 頁を読む。
定期試験を実施する Final Exam will be held			
14	試験の返却、および講評	質疑応答、ディスカッション	テスト問題の範囲の見直し。

【その他 特記事項：変更なし】

その他 特記事項	
-------------	--

科目名	LNG302: 語用論				担当教員	近藤 佐智子	
開講期	秋	開講時限	月木2限	研究室	4208	オフィスアワー	P.19を参照のこと

【授業実施方法】

授業実施方法	①主に Zoom を用いたリアルタイム型の授業
--------	-------------------------

【授業の進め方】

授業の進め方	Zoom を用いたリアルタイムの授業とし、教員による講義と質疑応答、学生によるペアワークおよびグループディスカッションを中心に授業を進める。教員による講義、学生による発表（24～27回目）に必要な資料は画面共有を通して確認しながら進める。学生間の議論は、全員が Zoom に参加した状態とブレイクアウト・ルームの双方で行う。18～22回目の授業ではディスカッションの内容を記した Participation Work Sheet を提出する。教員の資料配布、学生の発表資料及び課題提出は Moodle を通して行う。2度の小テストは授業で配布した資料、テキスト、各自のノートの持ち込み可とする。
--------	---

【評価方法：変更なし】 【評価基準：変更なし】

評価方法	小テスト 2 回 (40%) レポート (20%) 発表 (20%) 授業時の積極参加 (20%)
評価基準	<p>小テスト 2 回 (40%) 小テスト 1 (20%) 具体例を挙げて理論を論理的に説明できるか。語用論の用語を理解しているか。</p> <p>小テスト 2 (20%) 例を挙げて会話分析、異文化間語用論の用語を論理的に説明できるか。英語での発話行為を適切に行うことができるか。</p> <p>レポート (20%) 理論の紹介が適切に行われているか。語用論的視点から会話を分析できているか。論理的に分かりやすく書かれているか。書式が守られているか。</p> <p>発表 (20%) 発表の内容（理解して発表しているか、分かりやすく伝えることができたか、的確に要点を捉えているか）発表の態度（声の大きさ、話し方などが効果的か）</p> <p>授業時の積極参加 (20%) 課題を積極的にこなしたか。グループディスカッションやロールプレイに積極的に参加したか。Participation Work Sheet 5 回の提出とその内容の質。</p>

【運営方法、教育手法：変更なし】 【準備学修（予習・復習）：変更なし】

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	導入：授業の概要と評価方法 What is Pragmatics?（語用論とは何か）	講義、ディスカッション	テキスト 15-22 頁を読む
2	What is Pragmatics?（語用論とは何か）：状況の中での発話の意味	講義、ディスカッション	テキスト 15-22 頁を読む
3	Greeting（挨拶）	講義、ペアワーク、ディスカッション	テキスト 1-8 頁を読む
4	Communicative Competence（言語運用能力）	講義、ペアワーク、ディスカッション	テキスト 9-15 頁を読む
5	Speech Acts（発話行為）：理論と分類	講義、ペアワーク、ディスカッション	テキスト 23-30 頁を読む
6	Speech Acts（発話行為）：間接発話行為	講義、ペアワーク、ディスカッション	テキスト 47-54 頁を読む
7	Conversational Implicature（会話による含意）：協調の原則	講義、ペアワーク、ディスカッション	テキスト 39-46 頁を読む
8	Conversational Implicature（会話による含意）：会話の分析	講義、ビデオ視聴ディスカッション	テキスト 39-46 頁を読む
9	Politeness（ポライトネス）：Brown & Levinson の理論	講義、ペアワーク、ディスカッション	テキスト 55-63 頁を読む

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
10	Politeness（ポライトネス）：Leechの理論	講義、ペアワーク、ディスカッション	テキスト 64-71 頁を読む
11	日本語と英語のポライトネス	講義、ディスカッション	資料「日英のポライトネス」を読む
12	小テスト 1（40 分） 復習（60 分）	小テスト、講義ディスカッション	小テストのための復習
13	会話分析：隣接応答ペア	講義、ペアワーク、ディスカッション	資料「会話分析：隣接応答ペア」を読む
14	会話分析：修復 小テスト 1 の返却、および講評	講義、ディスカッション	資料「会話分析：修復」を読む
15	会話分析：優先構造	講義、ペアワーク、ディスカッション	資料「会話分析：優先構造」を読む
16	語用論的視点からの会話の分析 （レポートと発表について）	ビデオ視聴、講義、ディスカッション	談話完成タスク 発表の題材を考える
17	Cross-cultural Pragmatics（異文化間語用論）	講義、ペアワーク、ディスカッション	テキスト 80-86 頁読む
18	日英比較：Apologies（謝罪） ワークシート①	ロールプレイ、ディスカッション、講義	資料「Apologies」を読む テキスト 31-38 頁を読む
19	日英比較：Requests（依頼） ワークシート②	ロールプレイ、ディスカッション、講義	資料「Requests」を読む テキスト 72-79 頁を読む
20	日英比較：Compliments and Responses to Compliments（誉め）、ワークシート③	ロールプレイ、ディスカッション	資料「Compliments」を読む
21	日英比較：Refusals（断り） ワークシート④	ロールプレイ、ディスカッション	資料「Refusals」を読む
22	日英比較：Complaints（不満表明） ワークシート⑤	ロールプレイ、ディスカッション	資料「Complaints」を読む レポート作成
23	小テスト 2（40 分） 復習（60 分）	小テスト、講義ディスカッション	小テストのための復習
24	語用論的視点からの会話の分析（発表）	学生の発表ディスカッション	発表の準備レポート作成
25	語用論的視点からの会話の分析（発表）	学生の発表ディスカッション	発表の準備レポート作成
26	語用論的視点からの会話の分析（発表）	学生の発表ディスカッション	発表の準備レポート作成
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
27	語用論的視点からの会話の分析（発表）	学生の発表ディスカッション	発表の準備レポート作成
28	小テスト 2 の返却、および講評 レポート提出、復習と総括	講義、ディスカッション	レポート提出

【その他 特記事項：変更なし】

その他 特記事項	テキストと資料は日本語と英語で書かれているので、日本語と英語での予習復習が必要である。
-------------	---

科目名	ENG360: 英語史				担当教員	山本 浩
開講期	秋	開講時限	月木4限	研究室	4212	オフィスアワー P.19 を参照のこと

【授業実施方法】

授業実施方法	④ Zoom を用いたリアルタイム型の授業が 24 回、音声付のパワーポイントや映像配信などを用いたオンデマンド型の授業が 4 回。
--------	--

【授業の進め方】

授業の進め方	Zoom を用いたリアルタイム型の授業では、パワーポイント資料を事前に配布し、その資料を用いながら講義していく。オンデマンド型の授業では、パワーポイント資料を配布し、受講者はその資料に解説の音声をつけた動画を見て学修する。リアルタイム型、オンデマンド型のいずれも、授業終了時にリアクション・ペーパーの提出を求める。
--------	---

【評価方法：変更なし】 【評価基準：変更なし】

評価方法	授業参加：20% テストおよび定期試験：80%
評価基準	テストおよび定期試験：古英語、中英語、近代英語のそれぞれの特徴と、英語の変遷に関する知識を得ているか、また、英国史、世界史、英文学史と英語の歴史との関係についての知識を得ているかを見る。 授業参加：授業での質問に答えたか、積極的に質問や意見を述べたかを見る（リアクション・ペーパーの記述も含む）。

【運営方法、教育手法：変更なし】 【準備学修（予習・復習）：変更なし】

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	英語の現在	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
2	ケルト人、ローマ人、ゲルマン人	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
3	比較言語学とインド・ヨーロッパ語族	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
4	インド・ヨーロッパ語族の諸言語－インド・イラン語派、ギリシア語など	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
5	インド・ヨーロッパ語族の諸言語－イタリアック語派、ケルト語派、ゲルマン語派など	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
6	ゲルマン人と古英語	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
7	古英語の特徴	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
8	古英語の文学	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
9	テスト（45分）と1回～8回の授業の復習（45分）	テストとテストに基づく復習	テストの準備学習をする
10	テストのふりかえり	テストの返却、および解説	間違えた箇所、理解できていなかったところを復習
11	ノルマン征服と中英語	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
12	中英語の特徴	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
13	中英語の文学（チョーサー）	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
14	中英語の文学と時代	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
15	大母音推移と印刷術の発達	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
16	ヨーロッパとイングランドのルネサンス	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
17	チューダー朝と宗教改革	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
18	テスト（45分）と11回～17回の授業の復習（45分）	テストとテストに基づく復習	テストの準備学習をする
19	テストのふりかえり	テストの返却、および解説	間違えた箇所、理解できていなかったところを復習
20	近代英語の始まりとシェイクスピア	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
21	シェイクスピアの英語	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
22	英語の規範化	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
23	イギリスの階級	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
24	英語と階級、Queen's English, BBC English, RP	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
25	英語の方言	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
26	イギリス英語とアメリカ英語	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
定期試験を実施する Final Exam will be held			
27	19回～26回の授業の復習と定期試験のふりかえり	定期試験に基づく復習、定期試験の返却、および解説	間違えた箇所、理解できていなかったところを復習
28	英語史の総まとめ	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する

【その他 特記事項：変更なし】

その他 特記事項	
-------------	--

科目名	JPN301: 日本語教授法				担当教員	宮崎 幸江	
開講期	秋	開講時限	木 4 限	研究室	4217	オフィスアワー	P.19 を参照のこと

【授業実施方法】

授業実施方法	① 主に Zoom を用いたリアルタイム型の授業
--------	--------------------------

【授業の進め方】

授業の進め方	Zoom を用いたリアルタイムの授業とし、教員による講義と質疑応答、学生による口頭発表と質疑応答、そして学生間の議論を中心に授業を進める。教員による講義や学生による発表に必要な資料は画面共有を通して確認しながら進める。学生間の議論は、全員が Zoom に参加した状態とブレイクアウト・ルームの双方で行う。教員の資料掲出、学生の発表資料及び課題提出は Moodle を通して行う。
--------	---

【評価方法：変更なし】 【評価基準：変更なし】

評価方法	① 授業への積極参加 30% ② レッスンプラン 30% ③ 模擬授業 40%
評価基準	① 授業への積極参加：授業での発言やグループワークへの貢献を評価する。 ② レッスンプラン：内容をよく理解し授業計画がたてられているか、実践可能な教案を作成できるか、使用する言語は学習者のレベルに相応しいものかを評価する。 ③ 模擬授業：実践のスムーズさ、スキャフォールディングの質等を総合的に評価する。

【運営方法、教育手法：変更なし】 【準備学修（予習・復習）：変更なし】

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	日本語学習者の多様化、日本語教育の概要	講義、ディスカッション、質疑応答	教科書全体を概観してくる。
2	地域日本語教室で学ぶ学習者のニーズ	講義、ディスカッション、質疑応答	はじめにを読む。
3	やさしい日本語という考え方 第 1 課 おなか が すきました	講義、ディスカッション、質疑応答	第 1 課（14～17 頁）を読む。
4	日本語の文法 動詞と形容詞 第 2 課 わたし の プロフィール	講義、ディスカッション、質疑応答	第 2 課（18～21 頁）を読む。
5	日本語の文法 活用 て形のルール	講義、ディスカッション、質疑応答	第 3 課（22～25 頁）を読む。
6	文字の導入（ひらがな カタカナ 漢字） レッスンプランの作り方	講義、ディスカッション、質疑応答	第 4 課（14～17 頁）を読む。
7	教具（文字カード、絵カード）について 第 3 課 わたし の いちにち	講義、ディスカッション、質疑応答	模擬授業準備。
8	模擬授業 1 第 4 課 まち の じょうほう いろいろ	講義、ディスカッション、質疑応答	模擬授業準備、模擬授業の観察フィードバックを書く。
9	模擬授業 2 第 5 課 りょこう を しました	講義、ディスカッション、質疑応答	模擬授業準備、模擬授業の観察フィードバックを書く。
10	模擬授業 3 第 6 課 わたし の いちねん	講義、ディスカッション、質疑応答	模擬授業準備、模擬授業の観察フィードバックを書く。
11	模擬授業 4 第 7 課 おかねがあったら	講義、ディスカッション、質疑応答	模擬授業準備、模擬授業の観察フィードバックを書く。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
12	模擬授業 5 第 8 課 すきがいっぱい	講義、ディスカッション、質疑応答	模擬授業準備、模擬授業の観察フィードバックを書く。
13	模擬授業 6 第 9 課 げんきですか？	講義、ディスカッション、質疑応答	模擬授業準備、模擬授業の観察フィードバックを書く。
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
14	まとめ	講義、ディスカッション、質疑応答	レッシンプラン最終版作成。

【その他 特記事項：変更なし】

その他 特記事項	
-------------	--

科目名	EDU310: 初等教育				担当教員	杉村 美佳	
開講期	秋	開講時限	火金 3限	研究室	4220	オフィスアワー	P.19 を参照のこと

【授業実施方法】

授業実施方法	① 主に Zoom を用いたリアルタイム型の授業
--------	--------------------------

【授業の進め方】

授業の進め方	Zoom を用いたリアルタイムの授業とし、教員による講義と学生による発表、および学生間の議論を中心に授業を進める。教員による講義や学生による発表に必要な資料は画面共有を通して確認しながら進める。学生間の議論は、全員が Zoom に参加した状態とブレイクアウト・ルームの双方で行う。教員の資料掲出および学生の課題提出は Moodle を通して行う。
--------	---

【評価方法：変更あり】 【評価基準：変更あり】

評価方法	①授業時に課すリアクション・ペーパーを授業後に Moodle に提出 (30%) ②授業参加 (10%) ③『教育の段階』のブックレポートを Moodle に提出 (30%) ④指導案の作成・発表 (30%)
評価基準	①リアクション・ペーパー：論題について授業内容をふまえて論理的に論述できているか。 ②授業参加：議論に積極的に参加しているか。 ③『教育の段階』のブックレポート：テキストの内容を理解し、発達の筋道に即した教育のあり方について、講義内容もふまえて考察できているか。 ④指導案の作成・発表：ねらいが明確で一貫性があり、学習者の発達や興味に即した指導案であるか、指導案を効果的に実践する工夫がなされているか、を評価する。

【運営方法、教育手法：変更あり】 【準備学修（予習・復習）：変更あり】

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	小学生をめぐる今日的課題	講義・ディスカッション リアクションペーパー	配付資料の要約・考察
2	小学生の時代的变化	講義・ディスカッション リアクションペーパー	小学生の問題について調べる、配付資料の要約・考察
3	児童期の発達の諸側面と教育 (1) —認知的発達—	講義・ディスカッション リアクションペーパー	ピアジェの理論について調べる、配付資料の考察
4	児童期の発達の諸側面と教育 (2) —社会的・人格的発達—	講義・ディスカッション リアクションペーパー	社会性の発達について調べる、配付資料の要約・考察
5	児童期における道徳性の発達と教育	講義・ディスカッション リアクションペーパー	配付資料を読む 配付資料の要約・考察
6	児童期における問題行動の意味 (1) —非社会的問題行動—	講義・動画視聴 リアクションペーパー	問題行動について調べる 動画の内容の要約・考察
7	児童期における問題行動の意味 (2) —反社会的問題行動—	講義・動画視聴 リアクションペーパー	問題行動について調べる 動画の内容の要約・考察
8	『教育の段階』のレポート発表 (1)	口頭発表・討議・解説	『教育の段階』1のレポート 『教育の段階』の復習
9	『教育の段階』のレポート発表 (2)	口頭発表・討議・解説	『教育の段階』2のレポート 『教育の段階』の復習
10	『教育の段階』のレポート発表 (3)	口頭発表・討議・解説	『教育の段階』3のレポート 『教育の段階』の復習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
11	『教育の段階』のレポート発表（4）	口頭発表・討議・解説	『教育の段階』4のレポート 『教育の段階』の復習
12	特別支援教育の現状と課題	講義・ディスカッション リアクションペーパー	特別支援教育について調べる、 配付資料の要約・考察
13	初等教育の内容と教育課程	講義・ディスカッション リアクションペーパー	コア・カリキュラムを調べる、 配付資料の要約・考察
14	「総合的な学習の時間」の原理と方法	講義・ディスカッション リアクションペーパー	総合学習について調べる 配付資料の要約・考察
15	「総合的な学習の時間」の系譜	講義・ディスカッション リアクションペーパー	デューイについて調べる、 配付資料の要約・考察
16	小学校教師とは	講義・ディスカッション リアクションペーパー	教師の問題について調べる 配付資料の要約・考察
17	現代における授業改革	講義・動画視聴 リアクションペーパー	アクティブ・ラーニングを調べる、 動画の要約・考察
18	諸外国の初等教育（1）アメリカ	講義・動画視聴 リアクションペーパー	アメリカの教育を調べる 動画の内容の要約・考察
19	諸外国の初等教育（2）ヨーロッパ	講義・動画視聴 リアクションペーパー	ヨーロッパの教育を調べる 動画の内容の要約・考察
20	諸外国の初等教育（3）アジア	講義・動画視聴 リアクションペーパー	アジアの教育を調べる 動画の内容の要約・考察
21	指導案とは—指導案の作成方法—	講義、グループワーク	配付資料を読む 指導案の作成
22	指導案の作成（1） —単元・ねらいの設定—	各自指導案の作成	指導案の作成
23	指導案の作成（2）—教材・教具—	各自指導案の作成	指導案の作成
24	指導案の作成（3）—指導方法・評価—	各自指導案の作成	指導案の作成
25	指導案の発表および模擬授業（1）	模擬授業、相互評価 講評	模擬授業の準備と練習
26	指導案の発表および模擬授業（2）	模擬授業、相互評価 講評	模擬授業の準備と練習
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
27	指導案の発表および模擬授業（3）	模擬授業、相互評価 講評	模擬授業の準備と練習
28	指導案の発表および模擬授業（4）	模擬授業、相互評価 講評	模擬授業の準備と練習

【その他 特記事項：変更なし】

その他 特記事項	秦野市教育委員会からゲストスピーカーを招き、授業実践に関する講義を行う。
-------------	--------------------------------------

科目名	EDU303: 児童英語教育演習 C				担当教員	狩野 晶子	
開講期	秋	開講時限	月1・2限	研究室	4203	オフィスアワー	P.19 を参照のこと

【授業実施方法】

授業実施方法	① 主に Zoom を用いたリアルタイム型の授業 *適宜オンデマンドでの事前・事後学修及びグループによる授業時間外の準備学修を課す。
--------	---

【授業の進め方】

授業の進め方	主に Zoom を用いたリアルタイム型の授業で、教員の講義と学生の発表をもとに、ブレイクアウト・ルームでの学生間の話し合いや、全体での意見交換を中心に課題作成を進める。課題として、小学校にて遠隔で実施することを想定したデジタル学習素材をグループで作成する。グループワーク、課題提出や相互フィードバックは Moodle 等を活用してオンラインで行われる。作成したデジタル学習素材を小学校で実践活用する機会を得た場合には、学生は Zoom で小学校とオンラインでつながり、小学校での授業の補佐や児童との交流、学習支援を実施する。
--------	--

【評価方法：変更あり】 【評価基準：変更あり】

評価方法	①授業でのグループワーク参加姿勢 (30%)、②指導案・ワークシート作成 (20%)、③デジタル学習素材作成 (30%) ④模擬授業 (20%)、の比率に基づいて総合的に評価する。
評価基準	①授業内のすべての活動およびグループワーク等への積極的参加、協力しあい主体的に関わる姿勢とそれを反映したリフレクションを評価する。②児童特性を考慮した授業案・ワークシート作成と改良改善への取り組みの過程を評価する。③児童特性を考慮した、オンラインで活用できるデジタル学習素材の作成と改良改善への取り組みの過程を評価する。④適切な teacher talk の使用、アクティビティ構成、準備と練習の成果を評価する。

【運営方法、教育手法：変更あり】 【準備学修（予習・復習）：変更あり】

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	児童英語教育・小学校外国語（英語）教育とは：これまでの学習内容の確認	講義 グループワーク	既習科目の内容復習
2	児童英語教育の背景となる言語習得理論・発達理論の復習	講義 グループワーク	既習科目の内容復習 リフレクション作成
3	新学習指導要領、Communicative Language Teaching の観点に照らし指導案考察	講義 グループワーク	指導案をもとに模擬授業内容を作成・発表準備
4	言語習得理論・発達理論と児童英語教育の指導実践を反映した授業案を考える	講義 グループワーク	グループワークをもとにリフレクション作成
5	小学校における学習者の特徴を踏まえた指導案・教材教具の作成	指導実践、学生発表 グループワーク	授業内容をもとにグループで指導案を作成
6	小学生を対象としたテキストの指導案をもとに模擬授業発表①	指導実践、学生発表 グループワーク	授業内容をもとにグループで発表準備
7	イングリッシュフレンド・小学校モデル指導案の作成 (1)	指導実践、学生発表 グループワーク	省察・相互フィードバックをもとに発表準備
8	イングリッシュフレンド・小学校モデル指導案の省察と改良《1》	指導実践、学生発表 グループワーク	発表内容へのフィードバックをもとに指導案を改良
9	小学生を対象としたテキストの指導案をもとに模擬授業発表②	指導実践、学生発表 グループワーク	授業内容をもとにグループで発表準備
10	イングリッシュフレンド・小学校モデル指導案の作成 (2)	指導実践、学生発表 グループワーク	省察・相互フィードバックをもとに発表準備

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
11	イングリッシュフレンド・小学校モデル指導案の省察と改良《2》	指導実践、学生発表 グループワーク	発表内容へのフィードバックをもとに指導案を改良
12	小学生を対象としたテキストの指導案をもとに模擬授業発表③	指導実践、学生発表 グループワーク	授業内容をもとにグループで発表準備
13	イングリッシュフレンド・小学校モデル指導案の作成（3）	指導実践、学生発表 グループワーク	省察・相互フィードバックをもとに発表準備
14	イングリッシュフレンド・小学校モデル指導案の省察と改良《3》	指導実践、学生発表 グループワーク	発表内容へのフィードバックをもとに指導案を改良
15	小学生を対象としたテキストの指導案をもとに模擬授業発表④	指導実践、学生発表 グループワーク	授業内容をもとにグループで発表準備
16	イングリッシュフレンド・小学校モデル指導案の作成（4）	指導実践、学生発表 グループワーク	省察・相互フィードバックをもとに発表準備
17	イングリッシュフレンド・小学校モデル指導案の省察と改良《4》	指導実践、学生発表 グループワーク	発表内容へのフィードバックをもとに指導案を改良
18	小学生を対象としたテキストの指導案をもとに模擬授業発表⑤	指導実践、学生発表 グループワーク	授業内容をもとにグループで発表準備
19	イングリッシュフレンド・小学校モデル指導案の作成（5）	指導実践、学生発表 グループワーク	省察・相互フィードバックをもとに発表準備
20	イングリッシュフレンド・小学校モデル指導案の省察と改良《5》	指導実践、学生発表 グループワーク	発表内容へのフィードバックをもとに指導案を改良
21	小学生を対象としたテキストの指導案をもとに模擬授業発表⑥	指導実践、学生発表 グループワーク	授業内容をもとにグループで発表準備
22	イングリッシュフレンド・小学校モデル指導案の作成（6）	指導実践、学生発表 グループワーク	省察・相互フィードバックをもとに発表準備
23	イングリッシュフレンド・小学校モデル指導案の省察と改良《6》	指導実践、学生発表 グループワーク	発表内容へのフィードバックをもとに指導案を改良
24	小学生を対象としたテキストの指導案をもとに模擬授業発表⑦	指導実践、学生発表 グループワーク	授業内容をもとにグループで発表準備
25	イングリッシュフレンド・小学校モデル指導案の作成（7）	指導実践、学生発表 グループワーク	省察・相互フィードバックをもとに発表準備
26	イングリッシュフレンド・小学校モデル指導案の省察と改良《7》	指導実践、学生発表 グループワーク	発表内容へのフィードバックをもとに指導案を改良
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	小学生を対象としたテキストの指導案をもとに模擬授業発表⑧	指導実践、学生発表 グループワーク	授業内容をもとにグループで発表準備
28	イングリッシュフレンド・小学校モデル指導案の作成（8）	指導実践、学生発表 グループワーク	省察・相互フィードバックをもとに発表準備
	イングリッシュフレンド・小学校モデル指導案の省察と改良《8》	指導実践、学生発表 グループワーク	発表内容へのフィードバックをもとに指導案を改良
	全体での活動の省察	個人省察、学生発表 グループワーク	全体省察をもとに活動を振り返り Moodle に省察を書く。

【その他 特記事項：変更なし】

その他 特記事項	本講は「学外での実践的教育を含む開講科目・実務経験のある教員等による開講科目」にあたる。
-------------	--

科目名	EDU323: 児童英語指導者養成講座				担当教員	杉村 美佳	
開講期	秋	開講時限	火金 4限	研究室	4220	オフィスアワー	P.19 を参照のこと

【授業実施方法】

授業実施方法	① 主に Zoom を用いたリアルタイム型の授業
--------	--------------------------

【授業の進め方】

授業の進め方	Zoom を用いたリアルタイムの授業とし、教員による講義と学生による発表、および学生間の議論を中心に授業を進める。教員による講義や学生による発表に必要な資料は画面共有を通して確認しながら進める。学生間の議論は、全員が Zoom に参加した状態とブレイクアウト・ルームの双方で行う。教員の資料掲出および課題提出は Moodle を通して行う。
--------	--

【評価方法：変更なし】 【評価基準：変更なし】

評価方法	①課題提出 (20%)、②英文法小テスト (30%)、③アクティビティ発表 (20%)、④レッスンプラン作成 (30%)
評価基準	①課題提出：通信講座の振り返りチェックを行っているか。 ②英文法小テスト：通信講座『英語力トレーニング』確認テストのスコア ③アクティビティ発表：レッスンプランに即して講義で学んだ教授技術を実践に生かすことができたか。 ④レッスンプラン作成：作成手順に即し、子どもの発達段階に合った適切なプランになっているか。

【運営方法、教育手法：変更なし】 【準備学修（予習・復習）：変更なし】

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	児童英語教師とは	講義、グループワーク、DVD 視聴	『基礎知識 1』 Week1, 2 の予習、振り返りチェック
2	子どもと英語—児童英語教育の意義・目的	講義、グループワーク、DVD 視聴	『基礎知識 1』 Week3 の予習振り返りチェック
3	児童心理学 (1) —幼児期の心理—	講義、グループワーク	『基礎知識 1』 Week4 の予習
4	児童心理学 (2) —児童期の心理—	講義、グループワーク	『基礎知識 1』 Week4 の予習振り返りチェック
5	言語習得論	講義、グループワーク	『基礎知識 1』 Week5 の予習振り返りチェック
6	認知発達理論	講義、グループワーク	『基礎知識 1』 Week6 の予習振り返りチェック
7	バイリンガル教育	講義、グループワーク	『基礎知識 1』 Week7 の予習振り返りチェック
8	国際理解教育	講義、グループワーク	『基礎知識 1』 Week8 の予習振り返りチェック
9	小学校英語活動の位置づけ (1) —小学校「外国語活動・外国語」の目標と内容—	講義、グループワーク	『基礎知識 2』 Week1 の予習
10	小学校英語活動の位置づけ (2) —小学校「外国語活動・外国語」の留意点—	講義、グループワーク	『基礎知識 2』 Week1 の予習振り返りチェック
11	小学校英語活動の意義と課題	講義、グループワーク	『基礎知識 2』 Week2 の予習振り返りチェック

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
12	小・中・高の連携	講義、グループワーク	『基礎知識 2』 Week3 の予習 振り返りチェック
13	求められる英語活動指導者とは	講義、グループワーク	『基礎知識 2』 Week4 の予習 振り返りチェック
14	クラスルーム・イングリッシュ	講義、グループワーク	『英語力トレーニング 2』 Week13～15 の予習
15	語彙力のトレーニング	講義、グループワーク	『英語力トレーニング 2』 Week16～18 の予習
16	パラフレーズ力のトレーニング	講義、グループワーク	『英語力トレーニング 2』 Week19～21 の予習
17	状況設定力のトレーニング	講義、グループワーク	『英語力トレーニング 2』 Week22～24 の予習
18	カリキュラムとレッスンプラン	講義、グループワーク	『基礎知識 3』 Week6 の予習
19	教材・教具	講義、グループワーク	『基礎知識 3』 Week7 の予習 振り返りチェック
20	レッスンを構成するアクティビティ (1) ーレッスンに適したアクティビティー	講義、グループワーク	『基礎知識 3』 Week8 の予習
21	レッスンを構成するアクティビティ (2) ー代表的なアクティビティ例ー	講義、グループワーク	『基礎知識 3』 Week8 の予習 振り返りチェック
22	レッスンプランの書き方	レッスンプランの作成	『レッスンプラン作成ガイド』 Week9 の予習
23	レッスンプランの作成 (1)	レッスンプランの作成	レッスンプランの作成
24	レッスンプランの作成 (2)	レッスンプランの作成	レッスンプランの作成
25	レッスンプランの作成 (3)	レッスンプランの作成	レッスンプランの作成
26	アクティビティ発表 (1)	学生発表、相互評価、 講評	発表の準備と練習
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
27	アクティビティ発表 (2)	学生発表、相互評価、 講評	発表の準備と練習
28	アクティビティ発表 (3)	学生発表、相互評価、 講評	発表の準備と練習

【その他 特記事項：変更あり】

その他 特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・この授業の終了時には少なくとも TOEIC500 点以上となるよう努力すること。 ・この授業の受講者はできるだけ「サービスマーケティング入門講座」を受講すること。
-------------	---

科目名	SLE201: サービスラーニング入門講座				担当教員	宮崎 幸江	
開講期	秋	開講時限	火4限	研究室	4217	オフィスアワー	P.19を参照のこと

【授業実施方法】

授業実施方法	① 主に Zoom を用いたリアルタイム型の授業
--------	--------------------------

【授業の進め方】

授業の進め方	Zoom を用いたリアルタイムの授業とし、教員による講義と質疑応答、学生による口頭発表と質疑応答、そして学生間の議論を中心に授業を進める。教員による講義や学生による発表に必要な資料は画面共有を通して確認しながら進める。学生間の議論は、全員が Zoom に参加した状態とブレイクアウト・ルームの双方で行うが、後者の場合は各自が参加したことを示す文章を作成し授業内で共有しながら進める。教員の資料掲出、学生の発表資料及び課題提出は Moodle を通して行う。
--------	--

【評価方法：変更なし】 【評価基準：変更なし】

評価方法	① 積極的参加：25% ② リアクションペーパー：25% ③ 最終レポート：50%
評価基準	① 積極的参加：授業中のディスカッションやサービスラーニングに積極的に関わったかどうかを評価する。 ② リアクションペーパー：毎回の講義を振り返りシャトルカードに書いて提出する。 ③ 最終レポート：「サービスラーニング入門講座から学んだこと」というタイトルのレポートを最終日に提出する。 ※成績評価はパス/フェイルのみ

【運営方法、教育手法：変更なし】 【準備学修（予習・復習）：変更なし】

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	サービスラーニングとは何か サービスラーニングの歴史、種類、学び	講義、ディスカッション、質疑応答	講義用ノートの準備。
2	キリスト教とボランティア	講義、ディスカッション、質疑応答	ハンドアウトを読んで関連する事柄を調べる。
3	秦野の地域的特徴と課題（はだの学）	講義、ディスカッション、質疑応答	秦野市について興味のある事柄を調べる。
4	特別な個性を持つ子どもたち	講義、ディスカッション、質疑応答	ハンドアウトを読んで復習する。
5	異文化理解について	講義、ディスカッション、質疑応答	関連する新聞記事などを自分で調べる。
6	秦野市の学校におけるボランティアの役割	講義、ディスカッション、質疑応答	レポート準備。
7	みんなで考えるサービスラーニング	講義、ディスカッション、質疑応答	レポート準備。

【その他 特記事項：変更なし】

その他 特記事項	サービスラーニングへの参加を希望する学生は本科目を取ることを推奨する。活動をしながら本講座を履修することも可能である。 ※授業実施日は以下のとおりである。
-------------	--

【秋学期】1回目 (9/29)、2回目 (10/6)、3回目 (10/13)、4回目 (10/20)、5回目 (10/27)、
6回目 (11/10)、7回目 (11/17)

科目名	SLE302: サービスラーニング (小中学校日本語支援 B)				担当教員	宮崎 幸江	
開講期	秋	開講時限	月木 2限	研究室	4217	オフィスアワー	P.19 を参照のこと

【授業実施方法】

授業実施方法	① 主に Zoom を用いたリアルタイム型の授業及び実習
--------	------------------------------

【授業の進め方】

授業の進め方	講義は、Zoom を用いたリアルタイムの授業とし、教員による講義と質疑応答、学生による口頭発表と質疑応答、そして学生間の議論を中心に授業を進める。教員による講義や学生による発表に必要な資料は画面共有を通して確認しながら進める。教員の資料掲出、学生の発表資料及び課題提出は Moodle を通して行う。実習については、Zoom のブレイクアウト・ルームで、秦野市内の小・中学生または米国ウィスコンシン大学で日本語を履修している学生への日本語の支援を行う。
--------	--

【評価方法：変更あり】 【評価基準：変更あり】

評価方法	① 授業への積極参加 (35%) ② サービスラーニングへの参加 (35%) ③ プレゼンテーションとレポート (30%)
評価基準	① 授業への積極参加：授業でのディスカッションに積極的に参加し意見を述べているか。 ② サービスラーニングへの参加、振り返り：活動に参加し振り返りを記述しているか。 ③ プレゼンテーション、レポート：一学期間の活動をまとめ、テーマに従って活動内容を分析しているか。 ※成績評価はパス/フェイルのみ

【運営方法、教育手法：変更あり】 【準備学修（予習・復習）：変更あり】

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	外国につながる児童生徒とその保護者 その多様性を豊かさに変える	講義、ディスカッション、質疑応答	教科書 第1章を読んでノートにまとめる。
2	実習①：外国籍児童生徒及び大学生へのオンライン日本語支援	オンライン支援の場での質疑応答	支援の振り返りを書く。
3	実習の振り返りと報告 多文化化の現状バイリンガルの言語発達	講義、ディスカッション、質疑応答	ハンドアウトを読んでノートにまとめる。
4	実習②：外国籍児童生徒及び大学生へのオンライン日本語支援	オンライン支援の場での質疑応答	支援の振り返りを書く。
5	実習の振り返りと報告 グローバル化と日本の学校文化	講義、ディスカッション、質疑応答	他の人の振り返りから、自分の支援をもう一度振り返る。
6	実習③：外国籍児童生徒及び大学生へのオンライン日本語支援	オンライン支援の場での質疑応答	支援の振り返りを書く。
7	実習の振り返りと報告 多様な先生、多様な児童	講義、ディスカッション、質疑応答	他の人の振り返りから、自分の支援をもう一度振り返る。
8	実習④：外国籍児童生徒及び大学生へのオンライン日本語支援	オンライン支援の場での質疑応答	支援の振り返りを書く。
9	実習の振り返りと報告 教科学習の難しさ	講義、ディスカッション、質疑応答	他の人の振り返りから、自分の支援をもう一度振り返る。
10	実習⑤：外国籍児童生徒及び大学生へのオンライン日本語支援	オンライン支援の場での質疑応答	支援の振り返りを書く。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
11	実習⑥：外国籍児童生徒及び大学生へのオンライン日本語支援	オンライン支援の場での質疑応答	支援の振り返りを書く。
12	実習の振り返りと報告	講義、ディスカッション、質疑応答	他の人の振り返りから、自分の支援をもう一度振り返る。
13	実習⑦：外国籍児童生徒及び大学生へのオンライン日本語支援	オンライン支援の場での質疑応答	支援の振り返りを書く。
14	実習の振り返りと報告	講義、ディスカッション、質疑応答	他の人の振り返りから、自分の支援をもう一度振り返る。
15	実習⑧：外国籍児童生徒及び大学生へのオンライン日本語支援	オンライン支援の場での質疑応答	支援の振り返りを書く。
16	実習の振り返りと報告	講義、ディスカッション、質疑応答	他の人の振り返りから、自分の支援をもう一度振り返る。
17	実習⑨：外国籍児童生徒及び大学生へのオンライン日本語支援	オンライン支援の場での質疑応答	支援の振り返りを書く。
18	実習の振り返りと報告 外国人保護者が捉える日本の学校文化	講義、ディスカッション、質疑応答	他の人の振り返りから、自分の支援をもう一度振り返る。
19	支援方法の紹介	講義、ディスカッション、質疑応答	自分の支援方法を紹介するプレゼンの準備をする
20	実習⑩：外国籍児童生徒及び大学生へのオンライン日本語支援	オンライン支援の場での質疑応答	支援の振り返りを書く。
21	実習の振り返りと報告 クラス運営について	講義、ディスカッション、質疑応答	他の人の振り返りから、自分の支援をもう一度振り返る。
22	実習 11：外国籍児童生徒及び大学生へのオンライン日本語支援	オンライン支援の場での質疑応答	支援の振り返りを書く。
23	実習の振り返りと報告 子どもたちのエンパワメント	講義、ディスカッション、質疑応答	他の人の振り返りから、自分の支援をもう一度振り返る。
24	学校による違い	講義、ディスカッション、質疑応答	プレゼンテーション準備
25	プレゼンテーション	ディスカッション、質疑応答	プレゼンテーション準備
26	プレゼンテーション	ディスカッション、質疑応答	プレゼンテーション準備
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
27	全体の振り返り、プレゼンテーション	ディスカッション、質疑応答	プレゼンテーション準備
28	プレゼンテーション、総括	ディスカッション、質疑応答	レポートを書く。

【その他 特記事項：変更あり】

その他 特記事項	本講は「学外での実践的教育を含む開講科目・実務経験のある教員等による開講科目」にあたる。今学期の実習はオンラインとなる。「サービスマーケティング入門講座」を履修済みであることが望ましい。同じ学期に履修、または次の学期に履修することも可能である。Loyolaで登録はできないが、登録方法についてLoyolaに掲示するので確認すること。
-------------	--

科目名	SLE304: サービスラーニング (地域日本語支援 B)				担当教員	河北 祐子	
開講期	秋	開講時限	火金 5限	研究室	4号館2階 講師控室	オフィスアワー	P.19 を参照のこと

【授業実施方法】

授業実施方法	① 主に Zoom を用いたリアルタイム型の授業
--------	--------------------------

【授業の進め方】

授業の進め方	Zoom を用いたリアルタイムの授業とし、教員による講義と質疑応答、学生による口頭発表と質疑応答、そして学生間の議論を中心に授業を進める。またコミュニティーフレンドにおける実習を Zoom を用いて行うとともに、実習をしていない学生を対象に講義を平行して行う。教員による講義や学生による発表に必要な資料は画面共有を通して確認しながら進める。学生間の議論は全員が Zoom に参加した状態とブレイクアウト・ルームの双方で行う。後者の場合は各自が参加したことを示す文章を作成し、授業内で共有しながら進める。教員の資料提出、学生の発表資料および課題提出は Loyola を通して行う。
--------	---

【評価方法：変更あり】 【評価基準：変更なし】

評価方法	① 授業への積極的、協力的参加 40% ② コミュニティーフレンドへの継続的参加 30% ③ 学期末イベント企画実施 30%
評価基準	① 授業への積極的、協力的参加：授業でのディスカッションに積極的に参加し、意見を述べているか。また活発なディスカッションをするために協力しているか。 ② コミュニティーフレンドへの継続的参加：活動に継続的に参加し、自らの活動を省察しているか。 ③ イベント企画実施：1 学期間の活動のまとめとして、子どもの学びと成長を目指したイベントを企画実施したかどうか。 ※成績評価はパス/フェイルのみ

【運営方法、教育手法：変更あり】 【準備学修（予習・復習）：変更あり】

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	グローバリゼーションと地域社会 多文化共生施策	講義、質疑応答 グループワーク	外国人に関するニュースに関心を持つ。街観察をする。
2	日本で育つ外国人家庭の子ども 言語と教育の問題	講義、質疑応答 グループワーク	pp.8～24 を読んでおく。 身の回りの日本語を観察
3	グローバル化と日本の学校文化 支援方法と各種教材	講義、質疑応答 グループワーク	pp.26～39 を読んでおく。 リソースルームを見ておく。
4	居場所としての地域日本語教室 ボランティアと省察	講義、質疑応答 グループワーク	実習場所を確認しておく。
5	多様な子どもたちと支援方法	講義、質疑応答 グループワーク	場を観察する。
6	多様な保護者 支援の方法（本）	講義、質疑応答 グループワーク	pp.42～52 を読んでおく。 省察行動をとる。
7	担当する子どもと親しくなる。	講義、コミュニティー フレンド参加	活動記録を書く。活動への準備をする。
8	担当する子どもについて知る。得た情報から支援内容に生かす。	講義、コミュニティー フレンド参加	インターネットを利用した活動準備。活動記録を書く。
9	外国人保護者が捉える日本の学校文化① 実習のふり返りと報告	講義、質疑応答 グループワーク	pp.54～70 を読んでおく。 活動を省察する。
10	外国人保護者が捉える日本の学校文化② リソースルームの活用	講義、質疑応答 グループワーク	pp.70～84 を読んでおく。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
11	子どもの課題に応じた支援実施。課題と支援結果について省察。	講義、コミュニティーフレンド参加	インターネットを利用した活動準備。活動記録を書く。
12	実習のふり返しと報告。活動課題を全体で共有し、解決策を考える。	講義、質疑応答 グループワーク	教科書で学んだ内容から自分の活動について考える。
13	前回の支援から見えた課題への対応。支援結果省察。	講義、コミュニティーフレンド参加	インターネット等を利用した活動準備。活動記録を書く。
14	実習のふり返しと報告 これまでの課題解決行動に関する考察	講義、質疑応答 グループワーク	活動記録を読みかえしておく。活動改善を考える。
15	前回の支援から見えた課題への対応。支援結果省察。	講義、コミュニティーフレンド参加	インターネット等を利用した活動準備。活動記録を書く。
16	実習のふり返しと報告 リソースルーム活用方法の共有	講義、質疑応答 グループワーク	課題と活動改善を考える。
17	前回の支援から見えた課題への対応。支援結果省察。	講義、コミュニティーフレンド参加	インターネット等を利用した活動準備。活動記録を書く。
18	実習のふり返しと報告 子どもの学習を前進させる。	講義、質疑応答 グループワーク	課題と活動改善を考える。
19	前回の支援から見えた課題への対応。支援結果省察。	講義、コミュニティーフレンド参加	インターネット等を利用した活動準備。活動記録を書く。
20	実習のふり返しと報告 年齢による子どものニーズ変化を知る。	講義、質疑応答 グループワーク	子どもの将来を考える。 課題と活動改善を考える。
21	第二世代育成と社会参加	講義、質疑応答 グループワーク	活動対象の子どもについて、再考する。
22	前回の支援から見えた課題への対応。支援結果省察。	講義、コミュニティーフレンド参加	インターネット等を利用した活動準備。活動記録を書く。
23	前回の支援から見えた課題への対応。支援結果省察。	講義、コミュニティーフレンド参加	インターネット等を利用した活動準備。活動記録を書く。
24	実習のふり返しと報告 子どもへのフィードバック作成計画と準備	講義、質疑応答 グループワーク	子どもが自分の学習を振り返るための計画を考える。
25	担当した子どもへ向けた「学習のまとめ」を実施。結果共有と省察	講義、コミュニティーフレンド参加	インターネット等を利用した活動準備。活動記録を書く。
26	実習ふり返し	質疑応答 グループワーク	活動記録を書く。
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
27	コミュニティーフレンドにおける活動まとめを発表	質疑応答 グループワーク	発表準備をする。活動記録を書く。
28	全体での共有とふり返し 講評	グループワーク、質疑応答	実践課程をふり返し、学びを深める。

【その他 特記事項：変更あり】

その他 特記事項	本講は「学外での実践的教育を含む開講科目・実務経験のある教員等による開講科目」にあたる。今学期の実習はオンラインとなる。「サービスマーケティング入門講座」を履修済みであることが望ましい。同じ学期に履修、または次の学期に履修することも可能である。Loyolaで登録はできないが、登録方法について Loyola に掲示するので確認すること。
-------------	--

科目名	EDU322: リテラシーと多文化教育				担当教員	M. Lupas
開講期	秋	開講時限	火金 4限	研究室	4206	オフィスアワー P.19 を参照のこと

【授業実施方法】

授業実施方法	① 主に Zoom を用いたリアルタイム型の授業
--------	--------------------------

【授業の進め方】

授業の進め方	We will meet for class with Zoom at the scheduled class time. The instructor will show videos, ask questions to students, and have students participate in discussions and reaction sharing time on the Zoom platform during class time. Handouts will be distributed in Moodle. Tests and assignments can be completed in Moodle. The instructor will give feedback on student assignments in Moodle.
--------	--

【評価方法：変更なし】 【評価基準：変更なし】

評価方法	Participation and discussion 25% Vocabulary tests 25% Reaction papers 50%
評価基準	(1) Participation and discussion: Demonstrate accurate comprehension of the readings and videos as well as show ability to reflect on the contents by responding effectively to the instructor's questions orally or through in-class writing tasks (e.g., checklists, note-taking). (2) Demonstrate understanding of the definition of keywords and literacy principles. (3) Reaction papers: Punctuality, completeness and detail in describing, analyzing, and evaluating the video cases studies of teaching. Ability to think critically about the video contents (basic components of reading, key terminology, and concepts of literacy instruction as demonstrated in the videos and readings). Ability to compare one's own learning experiences with those depicted in the videos.

【運営方法、教育手法：変更なし】 【準備学修（予習・復習）：変更なし】

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Basic reading skills, oral language, phonological awareness, phonics, fluency, vocabulary	video, lecture, reading	preview the textbook
2	Grades K-2: Video 1: Becoming readers and writers	video, lecture, Q&A, checklist, and other tasks	read video description handout
3	Present reaction paper. Textbook reading: "Oral Language" p.8	group work, video, discussion	write a reaction paper and do the textbook reading
4	Grades K-2: Video 2 "Writer's Journal" (level appropriate independent writing)	video, lecture, Q&A, checklist, and other tasks	read video description handout
5	Present reaction paper. Textbook reading: "Phonological Awareness" p.9	group work, video, discussion	write a reaction paper and do the textbook reading
6	Grades K-2: Video 3: Building oral language	video, lecture, Q&A, checklist, and other tasks	read video description handout
7	Present reaction paper. Textbook reading: "Fluency" p.11	group work, video, discussion	write a reaction paper and do the textbook reading
8	Grades K-2: Video 4: Thalia learns the details Bilingual schools	video, lecture, Q&A, checklist, and other tasks	read video description handout
9	Present reaction paper. Textbook reading: "Learning Vocabulary" p.12	group work, video, discussion	write a reaction paper and do the textbook reading
10	Grades K-2: Video 5: Assessment driven instruction	video, lecture, Q&A, checklist, and other tasks	read video description handout

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
11	Present reaction paper. Textbook reading: "Prior Knowledge" p.13	group work, video, discussion	write a reaction paper and do the textbook reading
12	Grades K-2: Video 6: Cassandra becomes a fluent reader. Using visual clues.	video, lecture, Q&A, checklist, and other tasks	read video description handout
13	Present reaction paper. Textbook reading: "Comprehension" p.14	group work, video, discussion	write a reaction paper and do the textbook reading
14	Grades K-2: Video 7: Connecting Skills to Text Phonics	video, lecture, Q&A, checklist, and other tasks	read video description handout
15	Present reaction paper. Textbook reading: "Motivation" p.15	group work, video, discussion	write a reaction paper and do the textbook reading
16	Grades K-2: Video 8: Promoting readers as leaders	video, lecture, Q&A, checklist, and other tasks	
17	Present reaction paper. Textbook reading: "Integrated Reading" p.16	group work, video, discussion	write a reaction paper and do the textbook reading
18	Grades K-2: Video 9: Students make choices Autonomy	video, lecture, Q&A, checklist, and other tasks	
19	Present reaction paper. Textbook reading: "Assessment" p.18	group work, video, discussion	write a reaction paper and do the textbook reading
20	Grades 3-5: Workshop 1: Creating contexts for learning.	video, lecture, Q&A, checklist, and other tasks	read video description handout
21	Present reaction paper. Textbook reading: "Culture factor" p.19	group work, video, discussion	write a reaction paper and do the textbook reading
22	Grades 3-5: Workshop 2: Fluency and word study	video, lecture, Q&A, checklist, and other tasks	read video description handout
23	Present reaction paper. Textbook reading: "The Role of Practice" p.20	group work, video, discussion	write a reaction paper and do the textbook reading
24	Grades 3-5: Workshop 3: Building comprehension	video, lecture, Q&A, checklist, and other tasks	read video description handout
25	Present reaction paper. Textbook reading: "Conclusion" p.21	group work, video, discussion	write a reaction paper and do the textbook reading
26	Grades 3-5: Workshop 4: Writing (reading and writing connection)	video, lecture, Q&A, checklist, and other tasks	read video description handout
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
27	Present reaction paper. Discussion.	group work, video, discussion	write a reaction paper
28	Review and individual consultations.	lecture, one-on-one consultations	read video description handout

【その他 特記事項：変更なし】

その他 特記事項	
-------------	--